

出水・阿久根間
建設促進協力会

地域づくりシンポジウム 地方の声を中央へ

女性パネラーが道路整備の必要性を熱く語ったシンポジウム
高尾野町の農村環境改善センターで



久根市、野田町、高尾野町の女性代表6人が高速道路への熱い思いを語った。

南九州西回り自動車道「出水・阿久根間」(川内・隈之城間)の事業着手式(2月5日現地開催)を控えた29日、高尾野町の農村環境改善センターで地域づくりシンポジウムが開かれ、出水市、阿

女性パネラーが道路整備の必要性を熱く語ったシンポジウム
高尾野町の農村環境改善センターで

会場には管内から約550人が参加、熱気に包まれた。

「2月5日には事業着手式が開催され、いよいよ工事に向かって先が見えてきた。地域の女性代表のご意見を高速道路の整備と地域づくりに役立てたい」と挨拶。6人の女性代表は「高速道路早期着手のためにも、地域から大きく声を上げることが必要です」などと訴えた。

冒頭、奥村康博国交省九州地方整備局道路部道路調査官(元鹿児島県道事務所長)が「高速道路と地域づくり」と題して基調講演した。

南薩造園建設業協会(中島辰雄会長)は27日、労働安全講習会を開き、会員ら約30人が事業者の責任、災害と人間心理、伐木作業における留意事項などについて学んだ。



人的事故の抑止を

南薩造園建設業協会 労働安全講習会

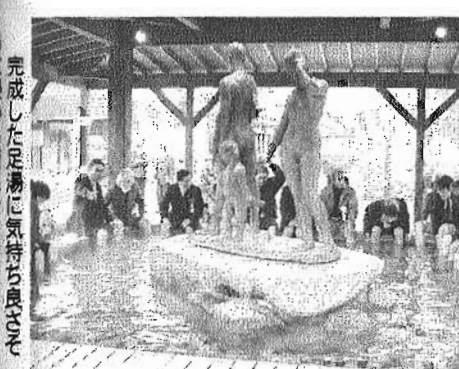
かアンケート調査を実施した。3000人から回答があり、道路以外の他の施設と予想したが、意外にも国道や幹線道路

の整備を望む回答が一番多かった。道路に対する議論は大変厳しいが、地方には道路整備のニーズが高い。地方の声を中央へ

指宿駅前足湯オープン

民間活力の先駆けに

「地元活性化を我々の手で」をスローガンに発足した指宿駅前足湯をつくる会(小林重夫会長)が、市民からの善意の募金によって指宿駅前足湯に整備を進めていた足湯がこのほど完成。27日は、来賓をはじめ地域住民ら総勢100人が見守る中、オープニングセレモニーが行われ、完成した足湯に気持ちよく入浴する姿がみられた。



「このような素晴らしい足湯が完成した。指宿を訪れる観光客に親しまれ、愛される場となることを願いたい」と挨拶。続いて、発起人の一人でもある岩野仁志氏(株岩野建設)が事業経過について報告。さらに同市の福岡亮一職務執行者と小園成美県議が「民間主導でこのような立派な施設を完成させたのは、民間活力の先駆けとして新たな風を起こしてほしい」とそれぞれ立場から祝辞を寄せた。

引き続き、今林会長から指宿社交業組合の代表者、理事長と指宿管工事組合の中村隆昭理事長に感謝状が贈られた。さらに今林会長、福岡氏、小園氏らによるテープカットが行われ、その一助を担ったことを専門業として務める市が賛同してくれた。市民が賛同してくれた。市民が賛同してくれた。

KINGGTセミナー

危険個所自治体での活用を

国土交通省国土地理院が無償で提供している、最新の地図データを基にしたインターネットで地理情報を配信するWebGIS。セミナーでは、同システムを利用しての危険個所マップ作成を実践的に学んだ。

視察に訪れていた国土地理院九州地方測量部の小原昇部長は、「電子国土WebGISシステムを使って、防災や観光などさまざまな用途で情報発信できる。自治体等にもぜひ活用いただきたい」と語った。

GIS技術資格教育達成度得点に加算
なお、今回のセミナーは、地理情報システム学会が認定するGIS技術資格の「教育達成度得点」として加算される。同資格は、米国のGIS Professionalを参考に、ポートフォリオ形式(キャリア管理・書類審査形式、継続教育がベース)で実施されるため、5年間の積算ポイントで認定される資格。学会はGIS技術資格主催者認定基準を策定し、これを17年4月から実施している。今回、KINGGTが学会に申請し、九州では初めて認可

児童ら貴重な体験

も行われ、中島会長ほか全員で1年間の家内安全合った。

下橋現場見学会を実施した。同橋銘板の揮毫を米満重満湧水町長が同会の児童に依頼したことから実現したもの。



記念写真に納まる児童・湧水町の現地で

SPACE HOUSE が鹿児島に

新登場

- ・簡単、スピーディーな作業
- ・安全性、快適性を重視
- ・コンセント、照明・換気扇付
- ・運搬時のコストダウン化

ハウス事業部

鹿児島支店
鹿児島市永吉町(アリーナ近く)
(099) 250-5060
FAX (099) 285-5999

販売・リース 東下総代理店
中央仮設株式会社
(099) 229-5900

ハウス「エクストラ」

販売・リース 東下総代理店
中央仮設株式会社
(099) 229-5900

と見学会を開きます。また、現場の苦勞も知って「ください」と挨拶。(株富士ビー・エスの甲斐淳二現場代理人と、(株)平原組の下橋田高雄現場代理人が資料を配布して工事概要などを説明した後、子供会を代表して西丸尚美親子会長が「近く開催する子供まつりで、きょうの催しを紹介いたします」とお礼の言葉を述べた。